

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	国立病院機構医王病院（デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年2月18日		～ 2026年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年2月18日		～ 2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用時の様子や状況などを記載する連絡帳を用意し、送迎時等に保護者へ伝えている。	連絡帳には、利用時の様子のほかにバイタルサインの値や、看護師から医療面でのコメントも記入している。また、保護者との話の中で懸念事項等がある場合には、速やかに事業所内で検討をしている。	広報誌等により事業所内の様子を多角的に伝えていきたい。
2	当デイサービスは、重症心身障害児・者、筋ジストロフィー等神経難病者を主な対象としており、医療的ケアを必要とされる方についても利用可能となっている。	看護師を配置している。また、病院内にあるため、利用者が体調不良等となった場合にも、すぐに医師に連絡を取ることができる。	緊急時・災害時対応訓練の強化に向けて検討を進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	必要な職員数は適切に配置しているが、安心して利用してもらうためには、利用者の状況によって看護師配置数の再検討が必要。	重症心身障害児・者、筋ジストロフィー等神経難病者が主な利用者であるが、医療的ケアを必要とされる方が年々増えてきている。	当デイサービスは病院内にあるため、医療的ケアを必要とされる利用者が多い時には、院内で看護師の配置の調整を検討する。
2	他の事業所等との連携や地域とのつながりが少ない。	当デイサービスは、重症心身障害児・者、筋ジストロフィー等神経難病者を主な対象としており、他事業所とは大きく性質が異なる。医療的ケアを必要とされる方も多く、地域との交流が容易ではない。	通所施設の研修会等への参加を積極的にしていきたい。他事業者とのつながりを広げ、医療的ケアを必要とされる重度の方が地域交流できる方法等について情報収集に努める。